

## 《Lesson 3》 「自動詞」と「他動詞」の両方の使い方

### 【ポイント1】 他動詞の文の際、日本語文にあまり登場しない **it** に注意

まずは以下の例をご覧ください。

私はこのニュース番組が好きです。私は毎朝見ます。

これを英語にする際は「私はこのニュース番組が好きです。私は（それを）毎朝見ます」の「それを」を補足する必要があります。つまり、

**I like this news program. I watch it every morning.**

という文になります。では、なぜ **it** が必要なのでしょう？ そうです！

この **watch** という動詞は「～を見る」という「他動詞」として使われているから

です。そのため、目的語である **it** が必要なのです。

<他の例> あなたは明日あなたの教科書が必要なので、忘れないで。

**You need your textbook tomorrow, so don't forget it.**

→ **forget** は「～を忘れる」という他動詞で使われているため「それを忘れないで」となる。

### 【ポイント2】 「自動詞」と「他動詞」の両方になれる動詞が多い

しかし、実は

多くの動詞は「自動詞」「他動詞」の両方になることができます。

例えば **eat** という動詞。これは「自動詞＝食事をする」「他動詞＝（何かを）食べる（＝口に物を運ぶ）」という形で使われるため、目的語がある文とない文が登場します。

<例> I only **eat** twice a day. （私は1日、2回しか食事をしません）【**eat** = 自動詞】

I **eat** rice every morning. （私は毎朝お米を食べます）【**eat** = 他動詞】 \*rice = 目的語

また、自動詞と他動詞で意味の異なる動詞もあります。

<例> He **runs** three days a week. （彼は週に3日走ります）【**run** = 走る（自動詞）】

He **runs** a company. （彼は会社を経営しています）【**run** = 経営する（他動詞）】

これら知っておくと、日本語文では省略される目的語の書き忘れを防ぐことができますので、ぜひ覚えておきましょう！

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。